

高出力(50W)での肺静脈隔離術において至適 Ablation index の検討

1. 研究の対象

2018年1月から2019年12月にかけて当院で心房細動アブレーションを行った方

2. 研究目的・方法

近年、高周波心房細動アブレーション治療では高出力の焼却をおこなうことで、より効果的な焼却巣を作成することができるといわれています。当院では、アブレーションインデックス(Ablation index)と呼ばれる焼灼の程度を評価する数値を目安にすることで、患者さんの状態に注意しながら徐々に出力をあげて、規格上最大の50Wという高出力での焼灼であっても過剰な焼灼になることなく安全に治療を行うことができます。この安全性に関して、以前の出力設定を用いた方法での治療と合併症の発生頻度を比べて改善しているのかに関して検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

ポップ現象と呼ばれる焼灼により発生する組織の挫滅や塞栓症、横隔神経麻痺や食道障害等の周辺臓器への障害などの合併症の発生率を確認します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院 循環器内科 岡松秀治

住所 熊本市南区近見5丁目3番1号

電話番号 096-351-8000 (病院代表)

以上